

# 【特典】

初めてピアノを弾く子どもへの教え方

# 音符の教え方



※対象年齢:小学1年生

スカラー

## ■ はじめに

このレポートの利用に際しては、以下の条件を遵守してください。

このレポートに含まれる一切の内容に関する著作権は、レポート作成者に帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権法上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を、複製、転載、販売、その他の二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行った場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず法的責任を負うことがあります。

レポート作成者は、このレポートの内容の正確性、安全性、有用性等について、一切の保証を与えるものではありません。また、このレポートに含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

このレポートの使用に当たっては、以上にご同意いただいた上、ご自身の責任のもとご活用いただきますようお願いいたします。

## ■ 目次

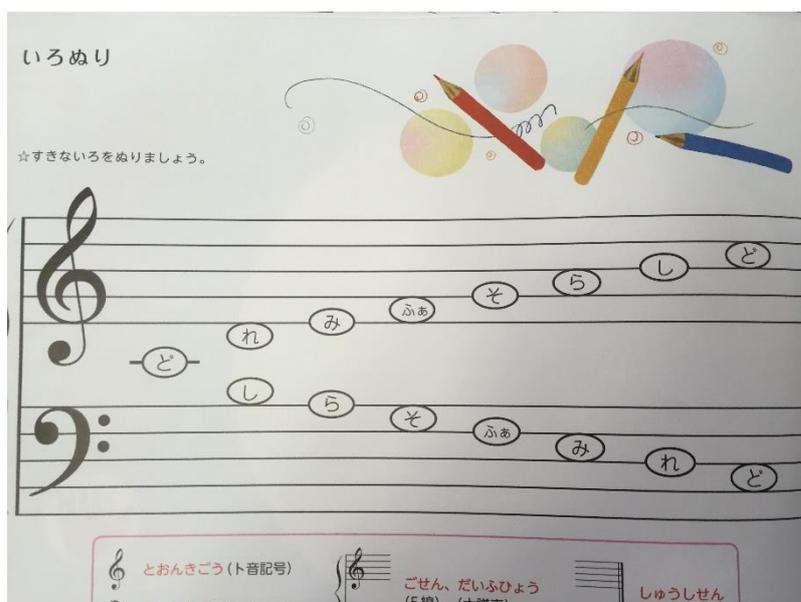
■ はじめに.....	2
■ 音符の教え方.....	4
まずはト音記号の「ド」「レ」「ミ」から！.....	5
へ音記号の「ド」「シ」「ラ」を覚える！.....	7
仕上げは「音符カード」でチェック！.....	9
まとめ.....	10

## ■音符の教え方

まず一番最初に教えるのが音符の読み方です。音符が読めなかったら楽譜を見てピアノが弾けないですからね。ここが一番大事で、一番教えるのに苦労するところかもしれません・・・(^;)

ではまずは全体像を見てみましょう。

最終的には、ト音記号のドレミファソラシド、ヘ音記号のドレミファソラシドを覚えてほしいです。



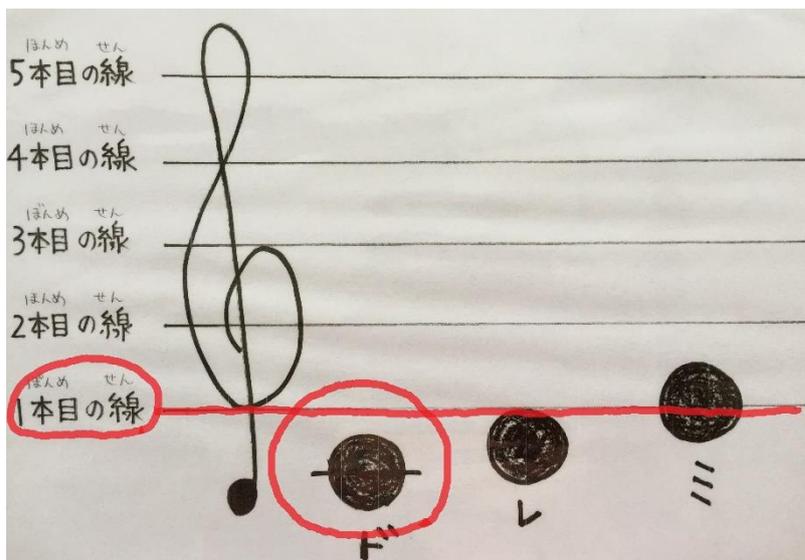
でも、いきなりこんなに覚えられないので、

とりあえず **ト音記号の「ド」「レ」「ミ」** を確実に覚えてもらいます。

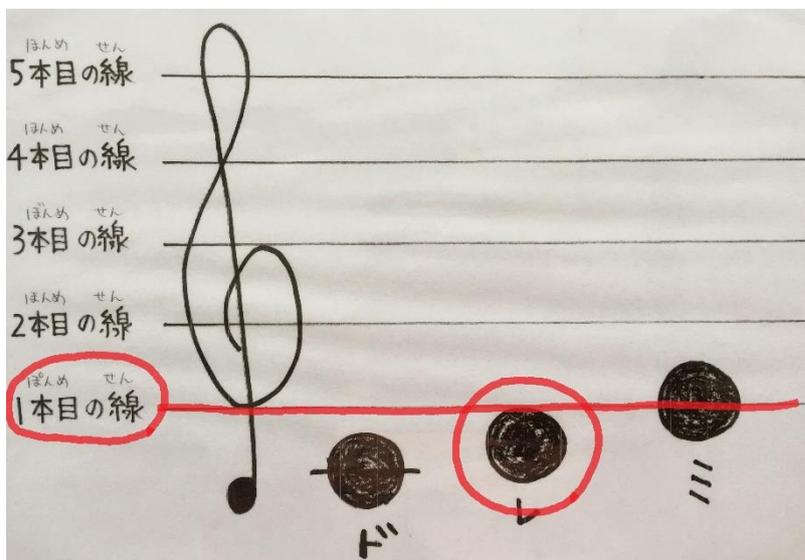
(勤の良い子どもやったら、それ以上に進んだらいいと思います)

## まずはト音記号の「ド」「レ」「ミ」から！

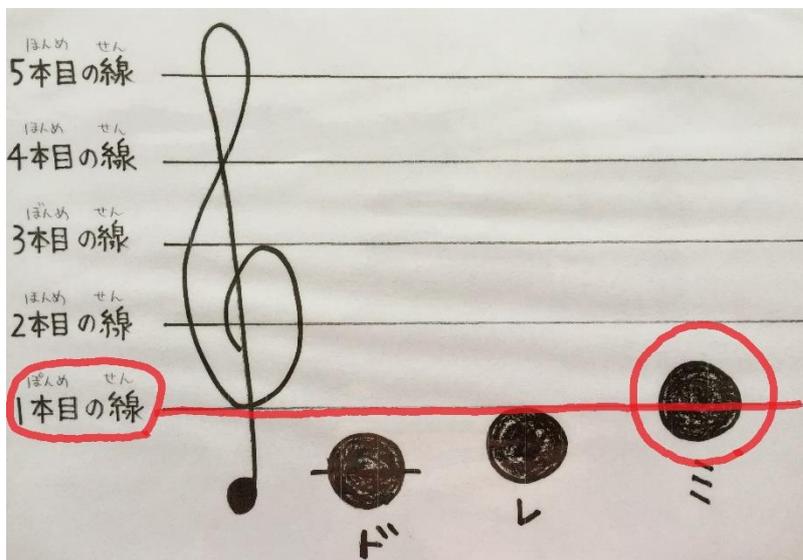
まずは「ド」。「1本目の線より下の線にあるね」と伝えます。



次に「レ」。「1本目の線の下にぶらさがっている音だよ」と伝えます。

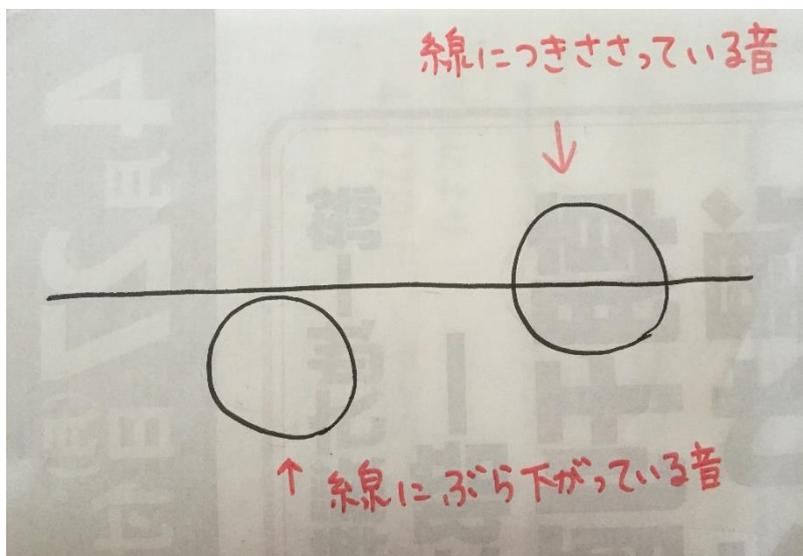


次に「ミ」。**「1本目の線につきささっている音だね」**と伝えます。



つまりは、**線につきささっている音か、線にぶら下がっている音か**の違いに気づいてほしいのです。

その違いを自分の目で判断してもらいます。

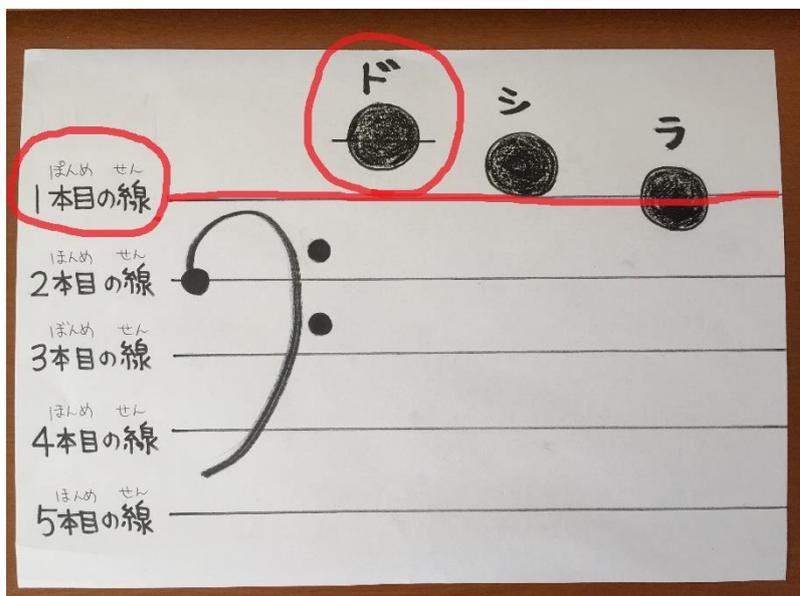


つきささっているのか、そうでないかの違いがわかってきたら、どんどん音を増やしていきます。

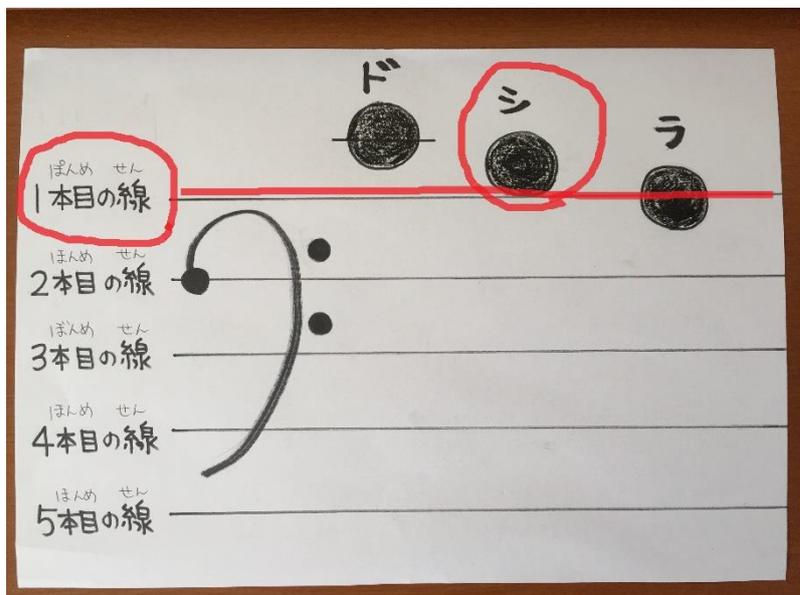
同じ要領で、**ドレミファソまで覚えたら、「ラ」に行かずに、へ音記号に移ります。**

## へ音記号の「ド」「シ」「ラ」を覚える！

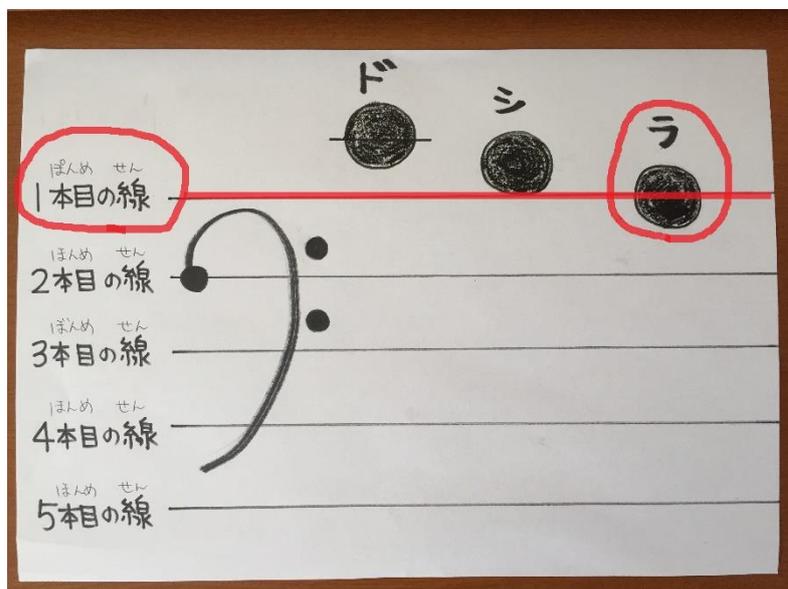
まずは、「ド」。「1本目の線より上の線につきささっている」と伝えます。



次に「シ」。「1本目の線の上に乗っかってる音」と伝えます。



次に「ラ」。**「1本目の線につきささっている音」**と伝えます。



へ音記号を教えるときのポイントは、**下にさがって読んでいく**ことを理解してもらうことです。

とりあえずは、こんな感じで進めていきます。

## 仕上げは「音符カード」でチェック！

で、ちゃんと読めているかを確認するために、1音1音バラバラにして音を読んでもらいます。そのときに使っているのがこれ。「[音符カード](#)」です。

「ポケモン おんぷカード」を使っています♪



なぜ1音ずつ読んでもらうかという、音符を前後の音の流れで読んでたりするので（「これが「ミ」やから次の音はたぶん「ファ」やろう」とかそういうこと）、そういう子どもは、1音だけ見せられたら何の音かわからないことが多いんです。

あと、音を読ませるだけじゃなくて、音楽ノートに書かせたりもしています。

先生が、5線譜にト音記号ドレミファソをランダムに書き、音を読んでもらいます。

逆に、ドレミを書いてあげて、それに合う音符を書いてもらったりするのも良いと思います。

## まとめ

- ・ト音記号の「ドレミ」から教える
- ・「ラ」に行かずに、ヘ音記号の「ドシラ」を教える
- ・「線につきささる音なのか、そうでない音なのか」の違いをわかってもらう
- ・「音符カード」を使って音をランダムに見せてもきちんと答えられるかチェックする
- ・音を読んでもらうだけじゃなくてノートにも書いてあげる

以上で、「初めてピアノを弾く子どもへの教え方～音符の教え方」は終わりです。

最後まで読んで下さりありがとうございます m( )m

◆作成者 スカラー

◆特定商取引法に基づく表記 <http://loopline.shop-pro.jp/?mode=sk>